

楽しく安心して子育てできるまちをめざしています!

子育てには、悩みや不安がつきものです。また、お仕事などで多忙な日々を過ごしている保護者の子育てを様々なサービスで応援しています。楽しく充実した子育てにお役立てください。

多忙な保護者を支援します 幼稚園預かり保育



預かり保育は、就労など、家庭での子育てを支援するために、市立幼稚園で、教育時間の前後(8時30分～9時、14時～16時15分)と長期休業日に預かりを中心とした保育を行っています。

お仕事をする保護者の手助けが少しでもできればと考えていますので、ご利用ください。



【実施施設】各市立幼稚園

【対象】市立幼稚園に在籍する3～5歳児

【利用要件】「保育の必要性に係る事由」に該当し、「保育の必要性の認定」を受けた場合

【費用】保育料：無料 おやつ代：実費負担

【申込み】利用要件など詳しくは市ホームページをご覧ください。

【問合せ】幼児課(☎65-8607)

ほっと安心できる心のよりどころ 病児保育



お子さんの病気は思ってもみないタイミングで発症するものです。そばで見てあげたいけど、どうしても仕事などで看病できない場合があります。そんな時、保育士・看護師が医師と連携して保育を行います。

お仕事等でお子さんの急病に対応できない時などにご活用ください。



【実施施設】医療法人まちのほけんしつ
病児保育室ほかほか
(平方町321-3 ☎68-3216)

【対象】生後6か月～小学校6年生

【定員】4人程度(疾患により変動)

【症状等】風邪や胃腸炎のほか、流行性疾患などで特別な治療行為が必要ない状態

※事前登録制。詳しくはホームページをご覧ください。

子育ての不安や悩みを解消します 子育て相談窓口



お子さんの育児に関して不安や悩みはありませんか。子育て専門相談員が育児に関する様々な不安や悩みをお持ちの保護者の相談に応じます。



▲子育て専門相談員の皆さん
些細なことでもお気軽に相談ください。

【実施施設】各市立幼稚園・保育園・認定こども園

【対象】市内幼稚園、保育園および認定こども園の在籍園児の保護者、未就園児の保護者

【問合せ】各市立幼稚園・保育園・認定こども園

子育てしやすい環境づくりに向けて 多子世帯保育料等の負担軽減



国の幼児教育・保育の無償化に加え、長浜市では多子世帯の経済的負担を軽減するため、保育料および副食費について、子の年齢や所得に関係なく、第2子半額、第3子以降を無償とし、子育てしやすい環境づくりを推進しています。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。

【問合せ】幼児課(☎65-8607)



「就学前教育」ってなに
就学前教育とは、小学校に行くまでの子どもたちが受ける教育のことです。
「小学校入学前の子どもたちに教育が必要か」と不思議に思われるかもしれませんが、子どもたちが将来羽ばたくためには、この就学前教育がとても大切です。
子どもたちの健やかな成長には様々な経験が必要。友達と試行錯誤し夢中になって遊ぶことで心身ともに強く、豊かになっていきます。多くの経験から学んだ力は、その後の成長に大きく関わってきます。また、子育てに悩む家族を支えることも就学前教育の大切な役割です。
仕事と子育ての両立のための施策は進んだものの、どうしても大人の都合が優先されがちです。子どもたちの未来を中心に据えた社会づくりを進めるため、今回の特集では、長浜市の教育・保育、大切にしていく取組みについて紹介します。



特集 世界は未知の楽しさにあふれてる ～就学前教育の重要性と取組み～

心の絆をつくる
乳幼児期に大切なこととして「愛着形成」があります。「愛着」とは子どもが身近な大人(養育者)に対して持つ「心の絆」のことであり、この時期に「身近な大人に愛されていること」、「不安なとき避難できる安心基地があること」など、ありのままの自分を感じて受け止め認められる経験の繰り返しにより育まれます。「心の絆」を持った子どもは、自分が大切な存在であるという意識にもつながり、自己肯定感や人への関心や信頼感が高まり、主体的な力や立ち直りの感情を調整する力、我慢する力、最後までやり抜く力等、人間として生きていくうえで必要な「非認知能力」を身に付けていきます。
子どもが自身の世界を拓く大きく成長していくためには、親が子どもへの声掛けや見守り、スキンシップを心がけるとともに、子どもの個性や主体性を認めながら愛情を持ってゆとりと関わっていくことが大切です。



長浜市教育委員会
教育長 板山 英信